

【福祉職員が身につける25項目の専門性】

 市民対応	 法に基づく対応	 文書(資料)作成	 企画立案	 進行管理
 倫理観の形成	 自己覚知	 感情のコントロール	 メンタルヘルス	 メンバーシップ/ リーダーシップ
 主体性の尊重	 面接/調査	 アセスメント	 援助方針	 モニタリング
 記録	 エンパワメント	 チームアプローチ	 スーパービジョン	 危機介入
 権利擁護	 センシティブな 情報の管理	 社会資源	 調整/交渉	 説明/ プレゼンテーション

福祉職員の最新情報はコチラ!

大学生などの若手向け 採用試験情報

大学卒程度社会福祉の受験資格や試験内容、日程などの情報はこちら。



経験・スキルを生かした 社会人経験者向け 採用試験情報

キャリアを生かして新たな道を考える方に向けた福祉職員の採用情報はこちら。



大阪市福祉職員のお仕事紹介

受験を検討されている方に向けた採用セミナーや動画などの情報を掲載。



大阪市職員採用情報



大阪市職員採用
大阪市の仕事魅力ガイド
いっしょに!
わらおーさか。



わらおーさか

<https://www.city.osaka.lg.jp/gyouseiinkai/page/0000647899.html>



大阪市人事委員会
X(エックス)公式アカウント
@oc_jinjiinkai



大阪市福祉職員 仕事

<https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000588341.html>

※写真はイメージも含まれます。令和8年2月作成

For your future
大阪市福祉職員
魅力発見ガイド

目の前の一人に寄り添い
280万人の
今と未来を支える。

一人ひとりの笑顔のために、大阪の福祉を動かそう。

大阪市には、年齢や環境、家族のかたちなど、多様な背景をもつ市民が暮らしています。一人ひとりの思いや課題に向き合い、最適な支援で笑顔を支える。それが私たち福祉職員の仕事です。誰もが安心して暮らせる大阪を、一緒につくりませんか？

理念

福祉職員は、個人の尊厳と人権の尊重を原点に、質の高い福祉行政の実践により、市民の福祉の向上に貢献します。

「個人の尊厳と人権の尊重」

一人ひとりがかけがえのない存在として尊重されること

「質の高い福祉行政の実践」

職員自ら主体的に行動し、福祉行政を高いレベルで遂行すること

「市民の福祉」

一人ひとりが幸せに暮らし続けることができること

めざす福祉職員像

福祉行政を担う専門職としての自覚と力量を備え、市民に寄り添い、熱い思いと冷静な思考をもとに最善を尽くす職員



福祉行政の主な役割

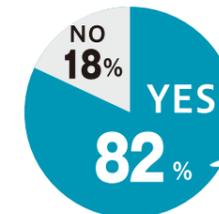


市民のくらしをまもる 生活保護制度や成年後見制度などを運用し最後のセーフティネットとしての機能を果たす	支援の輪をつなげる 関係機関と連携して必要な支援を行う	課題をまとめる 市民の声や現場の声に耳と心を傾ける	しくみをつくる 必要な制度を必要なたちで実現する
---	---------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

行政だからこそできる支援がある

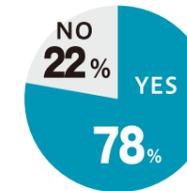
大阪市福祉職員に聞いてみました!!

Q1 大阪市の福祉職員はやりがいがありますか?



■市民の方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時に、やりがいを感じ、仕事のモチベーションになります。■寄り添うだけではない、その先の課題解決も見据えて、福祉の仕組みづくりに取り組むやりがいのある仕事です。■責任は大きいですが、最終的に砦となるのは行政だと思ふことが多々あります!

Q2 意見や提案をしやすい職場?



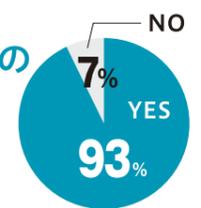
Q3 職場にはどんなタイプの人が多い?

- 真面目で責任感が強い人
- 面倒見がよい人
- 明るく前向きな人

Q4 自分の成長を感じるのはどんな時?

- トラブル対応ができた時
- 自分で判断して行動できた時
- 市民の方に喜んでもらった時

Q5 仕事で困った時に相談できる人が今の職場にいますか?



これから福祉職員を志す人へのメッセージ

- しんどいこともたくさんある仕事ですが、チームワークが良い職場が多いです。みんなで課題を解決できた時の喜びはひとしおです。
- 大阪市は、幅広い分野で福祉職員が活躍できることが特徴です。人事異動などを通じて、さまざまな経験を積むことができますので、スキルアップしながらキャリアを積んでいくことができます。
- どのような形であれ人と関わることが好きな人なら頑張って続けられると思います。
- 大阪市なら「あなただからこそできる仕事!」に出会えるはず。ぜひ一緒にお仕事しましょう!!
- 周囲には応援してくれる人が必ずいます。今の志を持ち続け、ぜひ福祉の現場に飛び込んでください。

福祉職員のリアルな声を動画でcheck!

「どんな仕事?どんな職場?」大阪市福祉職員のリアルを探るため、1,300名へアンケートを実施。そこで集まった声を、福祉職員として日々頑張っているフク先輩とシーちゃんをご紹介します。



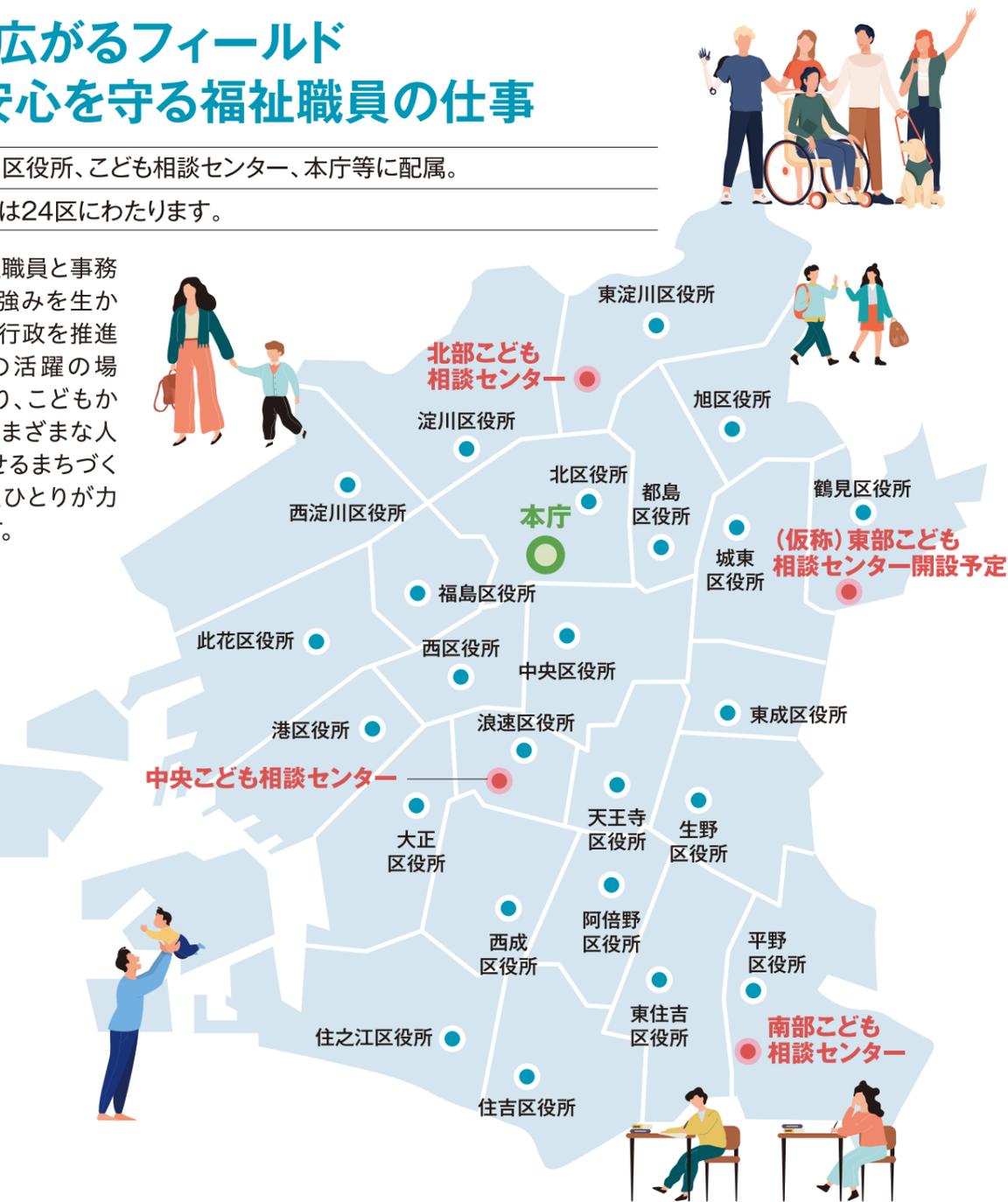
24区に広がるフィールド 市民の安心を守る福祉職員の仕事

福祉職員は主に、区役所、こども相談センター、本庁等に所属。
活躍のフィールドは24区にわたります。

大阪市では、福祉職員と事務職員がお互いの強みを生かし、協力して福祉行政を推進しています。その活躍の場は、24区に広がり、こどもから高齢者まで、さまざまな人が安心して暮らせるまちづくりのために、一人ひとりが力を発揮しています。

福祉職員のフィールドや役割を動画でcheck!

大阪市福祉職員のフィールドや役割を、人材育成を軸に、分かりやすくお伝えします。



主な所属先



こどもから高齢者まで さまざまな相談に応じる

市民に近い行政の窓口として、高齢者や障がいのある方、子育て世帯など、一人ひとりの状況に合わせて支援を考えます。



こどもとその家族の暮らしを支える

家庭等からのこどもに関する相談に応じ、虐待・養育・発達などの課題に対して支援を行います。



国や現場と連携し 福祉の土台をつくる

国や関係機関との調整や施策の立案を行う等、福祉的な視点から市全体の制度づくりや運営に携わります。

数字で見る 大阪市福祉職員

<p>01</p> <p>仲間は 1,300人 以上</p> <p>区役所、こども相談センター、本庁等の幅広い職場に仲間!</p> <p>いろんな職場に経験豊富な先輩がいるので、初めての業務で戸惑った時や困った時は、すぐに相談ができます。支え合いながら一緒に成長できる環境です。</p>	<p>02</p> <p>20~30代が 5割以上</p> <p>大阪市では、たくさんの若手職員が活躍中</p> <p>若手職員がどんどん挑戦できる雰囲気が魅力。40~50代の経験豊かな職員も多く、世代のバランスがとれた職場です。多様な視点が集まることで学びの幅が広がります。</p>	<p>03</p> <p>配属先は 30か所以上</p> <p>多様な現場で福祉職員としてのキャリアを積む</p> <p>区役所24か所やこども相談センター、本庁の他、事業所など多くの職場があります。ジョブローテーションでさまざまな地域や業務に関わることで、視野が広がり成長できます。</p>	<p>04</p> <p>職員男女比 4:9</p> <p>女性が多く活躍!安心して長く働ける環境</p> <p>女性の比率が高く、ライフステージに合わせながら長く働ける環境です。もちろん男性職員もさまざまな分野で活躍中。ぜひ一緒に、大阪の福祉をより良いものへ発展させていきましょう。</p>
<p>05</p> <p>生活保護受給率 約4.6%※</p> <p>支援を必要とする多くの市民に求められる仕事</p> <p>大阪市の生活保護受給率は政令指定都市の中で最も高い。そのため、生活に不安を抱える方を支えるケースワーカーの役割は大きく、福祉職員の力が求められています。</p> <p>※令和7年3月実績</p>	<p>06</p> <p>大阪市福祉関連 予算1兆円※以上</p> <p>大きな予算を預かり大阪市の未来に貢献するやりがい</p> <p>福祉費やこども青少年費を合わせると、市全体予算の約半分。大きな福祉行政に携わり、大阪の未来に貢献するという使命のもと、やりがいを持って働くことができます。</p> <p>※令和7年度予算</p>	<p>07</p> <p>年間休日 約120日</p> <p>オンオフのメリハリをつけながら頑張れる!</p> <p>年間休日は土日祝日と年末年始を含めて約120日。年次有給休暇20日に加え、夏季休暇5日や結婚休暇、子の看護休暇等の特別休暇も充実しており、休みを取りやすい雰囲気があります。</p>	<p>08</p> <p>男性育休取得率 9割以上※</p> <p>出産・育児をサポートする環境を整備</p> <p>男性の育児休業等取得率は91.8%。男性職員の育児参加を促すとともに、女性職員の活躍推進にも取り組んでいます。引き続きワークライフバランスの実現に向けた取組を推進します。</p> <p>※令和6年度実績</p>

先輩に聞く！ これがワタシのキャリア

多様な経験と学びを重ねながら、
一人ひとりが専門性を磨いていく。
そんな先輩たちの成長ストーリーを紹介します。

育児休業を取得しながらキャリアを積み重ねてきた職員、他部署での異動経験を現場で生かしている職員。また、同じ配属先で多分野に携わり、視野を広げている職員もいます。さまざまな経験が専門性を深め、支援の質を高めています。

福祉職員の主な配属先

	区役所	本庁等
生活保護	保健福祉課※ (生活保護業務)	【福祉局】 ・保護課
生活困窮者自立支援	保健福祉課※ (生活保護業務) (福祉五法等業務)	【福祉局】 ・自立支援課
高齢者福祉	保健福祉課※ (福祉五法等業務)	【福祉局】 ・高齢福祉課 ・地域包括ケア推進課 ・介護保険課
障がい者福祉	保健福祉課※ (福祉五法等業務)	【福祉局】 ・障がい福祉課 ・障がい支援課 ・運営指導課 ・心身障がい者リハビリテーションセンター
子ども家庭福祉	保健福祉課※ (子育て支援室) (福祉五法等業務)	【子ども青少年局】 ・管理課・子ども家庭課 ・幼保企画課 ・子ども相談センター (一時保護所含む)
地域福祉	保健福祉課※ (福祉五法等業務)	【福祉局】 ・地域福祉課

※課名は区によって異なります

学生からの 16の質問を 動画でcheck!

各配属先で働く福祉職員が、働き方について本音で答えます。



生活保護業務

区役所・生活保護担当
平成16年度採用(新卒)

ニックネーム | ナポリピザ
主な業務 | ・訪問・面接
・援助方針の検討
・保護費算定確認
・スーパービジョン
好きな言葉 | 大丈夫



※お子さんが描いた絵

人と深くかかわり 少しでも生きやすくなる支援を

区役所で生活保護業務に携わり、多様な人生と向き合っています。厳しい現実の中でも、福祉の力で少しでも生きやすくなってほしい。時には感情が揺さぶられる場面もありますが、以前の配属先である子ども相談センターでの経験を支援に生かしています。

3回の産休・育休を経て 誰もが輝ける職場づくりへ

子どもが小さい頃は両立に悩んだ時期も。上司の「仕事の質を高めて」という言葉を胸に、限られた時間でも成果を出す工夫を続けてきました。さらに、支えてもらったSV※からの「次の人を助けてあげて」という言葉が今の原動力。現在は支える側として、誰もが働きやすい職場をめざしています。

※スーパーバイザー

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成16年度	入庁。 A区役所・障がい福祉担当 になり身体障がい者手帳業務を覚えることから始まる。
平成20年度	児童相談所(現:子ども相談センター)へ異動 。相談支援担当のケースワーカーとなり、先輩に教わりながら児童福祉の業務を覚える。
平成22年度	産休・育休(1人目) 。子ども相談センターで得た知識や感情が、子育てにも役立つ。
平成23年度	子育てと仕事の両立生活が始まる。
平成25年度	産休・育休(2人目) 。
平成27年度	B区役所・生活保護担当へ異動 。上司や同僚に教えてもらいながら、新たに生活保護のケースワーカーの仕事を知る。
平成28年度	産休・育休(3人目) 。
令和3年度	係長へ昇任 。B区役所・生活保護担当のSVとなる。同じ職場にいるのに景色が変わり、これまでの仕事ぶりを反省する日々。
令和6年度	B区役所内でグループを異動し、 地域性の異なる地区のSV となる。ケースワーカーが一生涯業務にあたるのを後方支援する日々。

福祉五法等業務

区役所・地域福祉担当
平成20年度採用(新卒)

ニックネーム | みやくみやく
主な業務 | ・相談対応
・見守り活動の支援
・委託事業の後方支援
・地域福祉計画の周知啓発
好きな言葉 | 小さな一歩が、
大きな成果につながる



生活支援から制度運営まで 多様な経験が糧になる

最初は生活保護のケースワーカーに。市民対応に悩むこともありましたが、まずは信頼関係の構築に努めました。続く子ども青少年局では、ひとり親家庭の自立支援や新制度づくりを担当。現場支援と制度運営に携わった経験が、現在の福祉五法の業務にも生かされています。

地域の声を受け止め 福祉の仕組みを動かす

区役所で高齢者や障がいのある方の相談対応に加え、地域福祉計画の推進にも携わっています。その広報の一環として、地域の見守り活動を取材しSNSで動画を発信。地域の一番身近な相談窓口として支援を行い、地域の担い手の方々と一緒に仕組みを動かしていくことに、やりがいを感じる日々です。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成20年度	入庁。 C区役所に配属 され、生活保護のケースワーカーとなる。先輩に教えてもらいながら、訪問や面接などの業務を覚える。
平成25年度	初めての異動で本庁へ 。子ども青少年局でひとり親家庭等支援業務を担当。あらゆる場面で区役所との違いに戸惑いながらも、多角的な視点を学ぶ。
平成27年度	産休・育休 。
平成28年度	保育所の送迎に間に合うように業務の優先順位を考えながら仕事に取り組む。夫と協力しながら、何とか 仕事と両立 。
令和2年度	D区役所へ異動 。子育て支援担当に配属になり、保育所業務全般に従事する。今までの業務経験や自らの子育て経験も生かしながら相談業務を行う。
令和4年度	係長へ昇任 。区役所内で地域福祉担当へ異動。初めて高齢福祉や障がい福祉、生活困窮分野などを担当。戸惑うこともあったが、知識を習得しながら相談対応や委託事業者との 調整や連携、後方支援 を行う。

子ども相談センター

虐待対応担当
平成24年度採用(新卒)

ニックネーム | J
主な業務 | ・訪問・面接
・援助方針の検討
・スーパービジョン
・関係機関調整
好きな言葉 | 意志あるところに
道は開ける
(エイブラハム・リンカーン)



幅広い福祉分野で成長 育休での学びも支援に生きる

大学で学んだ心理学を生かせると思い志望しました。最初の区役所では、事務の多さに驚きつつも、知識が広がる喜びを実感。子ども相談センターへ異動後は、人と向き合う支援のやりがいを感じています。男性の育休にも理解がある職場で、2回の取得で得た子育ての経験が、仕事にも生きています。

対立する場面にも向き合い 寄り添う支援を大切に

SVとして、ケースワーカー業務の進捗管理や相談対応を行っています。ケースワーカーが保護者と対立して行き詰まった時は自ら現場に入ることも。行政の支援が“押しつけ”にならないよう、保護者の強みを見つけて、当事者が納得して前に進める支援を後進にも伝えています。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成24年度	入庁。 E区役所に配属 され、先輩に教わりながら、窓口相談や障がい福祉の業務を覚える。
平成28年度	子ども相談センターへ異動 し、虐待対応担当のケースワーカーになる。初めてのことばかりで緊張しながら、児童・保護者と向き合う日々。
令和3年度	子ども相談センターで、 相談支援担当のケースワーカー になる。養護・非行・育成・障がいなど、さまざまな家庭の課題解決の支援にあたる。
令和4年度	係長へ昇任 。
令和5年度	育休(1人目) を2か月間取得。
令和6年度	相談支援担当のSV となる。ケースワーカーの相談に乗り、助言を行う。
令和7年度上半期	子ども相談センター内で障がい担当のSV となり、区役所での障がい福祉の知識が生かされる。 育休(2人目) を3か月間取得。
令和7年度下半期	虐待対応担当のSV となる。児童相談の出発点であった部署に戻り、次はケースワーカーの相談に乗り、助言を行う。

こども相談センター

一時保護所
平成23年度採用(社会人経験者)

ニックネーム | にっしー

- 主な業務
- ・児童の生活支援
 - ・児童の行動観察
 - ・スーパービジョン
 - ・勤務シフトの管理

好きな言葉 | 自他共栄
(少林寺拳法の基本理念のひとつ)



児童福祉を志し転職 チームの支えで成長する日々

進路を模索する中、福祉の道を選択。民間団体で地域福祉やこどもと関わるうちに児童福祉への思いが強まり、福祉職員を志望しました。最初の区役所では訪問や記録に追われる毎日でしたが、前職の経験が支えに。チームの助けがあったからこそ乗り越えられたと思います。

笑顔に励みに こどもの気持ちに寄り添う

こども青少年局を経てこども相談センターへ。24時間体制の一時保護所で、「こどもが心を開いてくれる初めての大人になろう」という思いで向き合う中で、見せてくれる笑顔が何よりの励みです。現在は児童指導員へのスーパービジョンを担当し、こどもたちの安心のために力を注いでいます。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成23年度	入庁。F区役所の生活保護担当に配属され、上司、先輩に厳しくもやさしく育ててもらいながらケースワーカーとして、訪問や面接などの業務に従事。
平成27年度	選挙業務を兼務。他職種の職員の方と働くことで、さまざまな刺激を受けることができた。その間、自身の業務をフォローしてくれたチームの仲間感謝。
平成30年度	初めての異動で本庁へ。これまで経験したことのない業務内容に戸惑いと緊張の連続だった。周囲の先輩方に支えてもらい、何とか乗り越えた経験は財産。
令和2年度	こども相談センターの一時保護所へ異動。コロナ禍で試行錯誤の児童支援。シフト勤務で平日に休みがあり、こどもの幼稚園の送迎ができる。
令和5年度	係長へ昇任。現在は、それぞれの職場で活躍している同期にお祝いをしてもらったことがうれしかった。記念にもらったペンは宝物(写真参照)!
令和6年度	一時保護所のSVとなる。日々、新たな気づきがあり、まだまだ勉強中。より良い児童支援に向けて取り組んでいる。

本庁

福祉局・障がい福祉サービス担当
平成22年度採用(新卒)

ニックネーム | U

- 主な業務
- ・障がい福祉サービスの制度運用
 - ・予算編成
 - ・制度改正対応
 - ・問い合わせ対応

好きな言葉 | 一日一善



経験を生かし、制度の効果的な運用を考える

仲間に支えられ、区役所の生活保護担当での対人援助や、本庁での事業企画等を経験しました。現在は障がい福祉サービスの制度運用を担当。複雑な制度をかみ砕いて伝えることで、「よくわかりました」と言ってもらえた瞬間にやりがいを感じます。市の仕組みを動かす業務に責任感を持って取り組んでいます。

周囲の助けに支えられ 大規模な式典運営を達成

心に残っているのは、民生委員の記念式典の運営。大きな会場を借り、物品発注や進行表の作成など準備は数カ月及び、本当に大変でした。それでも仲間に支えられて乗り越えた経験は大きな財産に。大会後に飲んだビールは格別でした。仲間と共に、今後も新しい挑戦を続けたいです。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成22年度	入庁。G区役所に配属され、先輩や同僚の助けのもと、生活保護ケースワーカーとして家庭訪問・面接などの業務に励む。
平成25年度	仕事のスケジュールを調整し、夏季休暇を利用して1週間のトルコ旅行へ。リフレッシュできたのはもちろん、一生の思い出になる。
平成28年度	メンターに挑戦。メンティである新規採用職員との交流を通して、先輩職員である自分の方が色々なことを学べた気がする。
平成29年度	初めての異動で本庁へ。福祉局で民生委員の担当に。新しい環境と業務に戸惑い、失敗ばかりだったけれど、ここでも周囲の人たちにたくさん助けてもらう。
令和2年度	精神保健福祉士の資格取得をめざし、専門学校(通信制)へ入学。仕事をしながら勉強をして課題を提出するのは想像以上に大変だったけれど、それでもなんとか修了し国家試験にも合格。
令和3年度	係長へ昇任。福祉局内で障がい福祉サービスの担当へ異動し、再びこれまでと全く違う業務の担当となり悪戦苦闘の毎日を過ごす中、ここでも周囲に助けられる。

【よくあるご質問

大阪市の福祉職員として働くうえで、疑問や気になることに先輩がお答えします!】

Q1

職場の雰囲気はどんな感じ?

同じ想いや目的を持って、和気あいあいと助け合っています。上司や先輩も気さくな人が多く、相談しやすいです。(採用3年目)



Q2

仕事とプライベートとのバランスは?

週1のノー残業デーや有給休暇を活用してプライベートを満喫!大阪市内ではイクボス宣言を行い、ワーク・ライフ・バランスを推進しており、子育てや介護などの休暇制度も活用しやすいです。(採用19年目)

Q3

残業や休日出勤はあるの?

残業は時期や配属先により異なります。イベントで休日に出勤することもあります。こども相談センターの一時保護所は、土日祝、夜間も含めてシフト制の勤務です。(採用9年目)



Q4

仕事で大変なことは?

異動で転職かと思うほど業務内容が変わることもありますが、その分成長できます。(採用15年目)
突発的・緊急的な事態で苦慮することもあります。力を合わせて乗り切った後の充実感は格別です。(採用6年目)

Q5

配属希望を伝えられる?

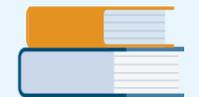
毎年、希望を上司に伝える面談があります。必ず叶うわけではありませんが、やりたい業務にチャレンジできる制度もあります。(採用13年目)



Q6

受験に必要な資格は?

「大学卒程度社会福祉」の受験には「社会福祉主事任用資格」(採用予定日までに取得する見込みの方を含む)が必要です。その他は大阪市HPをご確認ください。



Q7

働きながら資格取得はできる?

働きながら、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を取得する職員、夜間に大学院に通学する職員もいます。(採用5年目)



Q8

大阪市の福祉職員でよかったことは?

多様な地域課題を抱える自治体だから経験できることも多く成長できます。区役所での市民生活に密着した相談業務等を経験し、本庁での事業の企画・立案業務に生かすこともできます。(採用12年目)

Q9

行政の福祉をめざしたのはなぜ?

市民の暮らしを守るための制度や仕組みなど、福祉基盤の整備に携わることができ、虐待対応やセーフティネットの役割を果たす行政の仕事にやりがいを感じたから。安定した雇用、福利厚生の充実も魅力です。(採用7年目)

Q10

福祉職員として大切にしていることは?

市民や職員、すべての方々との信頼関係と、そこから得た人とのつながりを大切にしています。(採用30年目)
相手の立場に立って考えること、感情をコントロールすること、主訴をしっかり理解することかな。(採用17年目)

Q11

面接や対応は初めから一人?

はじめは先輩が窓口対応や家庭訪問に同席する等して教えてくれます。支援の方向性などはチームや組織で判断していく仕組みがあるので、一人で抱え込むことはありません。(採用2年目)



Q12

学生時代(または入庁前)に勉強しておく良いことは?

大阪市内で働くうえで必要な知識は入庁後に学べます。続けられる趣味を見つけておくのはおすすめです。どんなことでも一生懸命取り組んだ経験は、仕事にも役立ちます。(採用18年目)

